

みんなが「和 輪 話 笑」

新しい時代にふさわしい西条へ！

節目が間近に迫る中、これまでの市政を検証し、時代とともに改めるべきところは改めていく、そうして、未来に向かって新たな一歩を踏み出す時期を迎えたとも考えています。これまでの市政をベースとしながらも、それに縛られるのではなく、みんなが助け合いながらより良い西条市のカタチを創っていく、そのスタートが今です。

今こそ心をひとつに

市政は継続しており立ち止まっている時間はありません。市政を停滞させず新たな一歩を踏み出していくためには、市民の皆さまのご理解とご協力が不可欠です。私が先頭に立ち、対話の「キャッチボール」を積み重ねながら、議論を深め、お互いの信頼関係を築いていかなければならないと考えています。

今、西条市政に求められているのは、市民の皆さま一人ひとりと心を通わせ、信頼で結ばれることです。私たちは、東日本大震災という困難に直面し、改めて人と人が信頼で結ばれることの大切さに気付きました。今こそ、お互いを思いやり支え合う気持ちをみんなが持ち寄って、心をひとつにしていきたい、それが私の願いです。

新たなスタートライン

そうした社会の気運とともに、今年には西条市にとりましても、さらなる飛躍・発展をめざすうえで大きな転換点であると強く感じています。

合併により新西条市が誕生してから8年、この間当市は、伊藤前市長の舵取りのもと、「自己責任」と「自己決定」の原則を貫徹しながら、産業振興を主軸とする独自のまちづくり施策を展開し、東予地方で大きな存在感を示す都市への成長を遂げるに至りました。

そのような中、私は、昨年11月の市長選挙において、市民の皆さまの温かいご理解とご支援により、西条市長に就任させていただいて以来、前市政が残した数多くの宝をしっかり受け継ぎ、さらに磨きをかけたいかなければならないとの意を、より一層強くしているところです。また一方で、合併から10年という

市議会3月定例会が3月7日から27日までの21日間の会期で開かれ、平成25年度予算などの議案が上程され、審議されました。青野市長が議会初日に述べた、市政に臨む所信と新年度の具体的な施策の概要についてお知らせします。

大きな転換点

我が国にとって大きな転換点となる年が始まりました。

昨年末、アメリカ・オバマ大統領の再選や中国・韓国におけるリーダー交代など、世界情勢が目まぐるしく変化する中、我が国においても政権交代の再現により、政策の大胆な転換が図られようとしています。

東日本大震災や長引く景気低迷などにより、久しく閉塞感に覆われた日本全体に再び活力を取り戻すため、

新政権には、震災からの早期復興に最優先で取り組むと同時に、景気回復への期待を確信に変えるような経済対策を着実に実施し、国土強靱化、日本経済再生へ道筋をつけることが切に望まれています。

加えて、グローバルな観点のもと、TPP交渉参加の是非や外交・安全保障問題等、世界各国との連携を要するさまざまな課題の解決に向けて、今年こそ決断・実行していくことが期待されているところです。

未来に希望がもてる日本、世界から期待され信頼される新しい日本を創造していくため、これまでの体質に縛られることなく、リーダー自らが率先してその殻を破り、未来に向かって前進していこうとする覚悟と勇気をもつことが必要です。今こそリーダーを先頭に国民が一致団結して、我が国が直面する内外の危機的状況を突破していかなければなりません。